Rotary 高田ロータリークラブ会報 2018～2019年度
Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」

インスピレーションになろう

2018～2019年度
国際ロータリー会長　バリー・ラシン
2560地区ガバナー　川瀬　康裕
高田ロータリー会長　牧野　章一
幹事　佐藤　教彦

事務局：新潟県上越市西城町2−10−25 大島ビル201号
TEL（025）526-3288　FAX（025）526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL（025）526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井　靖功　岩﨑　幹男　宮川　大樹

第28回例会 ■ 2月22日㈮ No.28

会長挨拶 ● 牧野　章一

皆さまこんにちはー。本日は職業奉仕委員会主催の職場訪問で関根学園高等学校にお伺いしております。

まず､関根学園さまには､高田ロータリークラブ青少年交換学生ジョン・スケンゼル君を受け入れていただき、授業料の免除をはじめ学園生活でのきめ細かなご配慮など、物心共に全面的なご協力を賜わり心から感謝申しあげます。

教育は国の礎と申します。私たちに馴染み深い「米百俵」がよくこの例えに挙げられます。職業人としての我われも企業の礎は「学び」教育にあると承知しています。

職業奉仕の理念（「ロータリーの目的」第２項）の中に“役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること”“社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとすること”とあります。高潔とは、社会的な価値を高める⁉であります。

今から、関根学園高等学校 建学の精神「輝いて生きる」へつながる事例を学ばせていただきます。ワクワクしております。

最後に、この貴重な機会をつくっていただいた職業奉仕委員会 渡邉　隆委員長に感謝申しあげます。

出　席　報　告

出席率　100％

メイクアップ

佐藤憲二君・髙坂光一君・髙橋孫左衛門君（2/16 ロータリー財団セミナー）

委　員　会　報　告

出席ニコニコ BOX 委員会

宮川大樹君――２月９日肉の日に入籍しました。これからは妻ともどもよろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会――ジョン君近況報告

社会奉仕委員会――オークション報告　売上総額 290,000 円（協力金含む）

幹　事　報　告

配布：３/４元気はつらつ元気塾講演会チラシ・加州大聖寺藩参勤交代うぉーく 2019 パンフ

職場訪問 ― 関根学園のこれから

職業奉仕委員長・関根学園高等学校理事長　**渡邉　隆 君**

本日はロータリーの皆さん関根学園の訪問ありがとうございました。

関根学園は、今年 110 周年を迎えます。関根学園は創設者関根萬司先生の創られた「輝いて生きる」のモットーを基本として教育活動をおこなっております。

それを実現するために３つのことを目的とします。

（1）三年間で自分の「輝ける道」を見つけ出すこと
（2）Global な Sense を養うこと
（3）地域の皆さんとの共有を意識すること
です。
（1）については、中学校を卒業してくる生徒たちには、すでにスポーツや学習で得意分野を持っている者や、まだ自分が何をしていいかわからない者も多くいます。それらの若者たちを受け入れ、これから成人して社会に巣立つ自分の姿を夢見ながら自分のこれから進むべき道を探す活動を高校生活の目的とすることです。自分の得意分野を探し、クラスの仲間や部活の仲間たち、あるいは保護者の皆さんと一緒にさがしていくことです。学園はそうした活動を支援する環境をつくっています。

今期、佐藤進太郎君がインターハイ男子大回転で優勝しました。佐藤君は南魚沼市出身です。スキーで活躍したいということで本学園に入学してきました。そして三ヶ年の鍛錬と努力の結果、今回の栄冠に輝いたのです。この春から早稲田大学への進学も決まり次の冬季オリンピックを目指すと語っています。得意分野を極めた見事な結果です。
（2）については、まずは修学旅行です。グローバルセンスを養うという大きな目標を掲げ再来年から修学旅行をシンガポールにしました。上越から日本へそしてまた世界へと大きなつながりを生徒たちに体で感じてもらうことを目的としています。食文化の豊かな上越の街にある富寿司さんがシンガポールに7店ほどこの10年間で出店しております。そこで働く上越の若者そしてまた新潟県の若者の姿を高校生が、直にその目で見てグローバルな日本の活躍を目に焼き付けてほしいのです。

また、私たちの国際交流の活動は既に始まっております。今年度はアメリカのミシガンからジョン・スケンゼル君を迎え、またこちらの学園から竹内音々さんをアメリカの高校に、ロータリーの交換留学生として送っております。ジョン・スケンゼル君は、いま、日本の文化を一生懸命学ぼうとし学園に馴染んでおります。彼との日常のふれあいの中から学園の生徒たちは国際的な雰囲気を学びとっていることと思っております。
（3）の地域の皆さんとの共存を意識することは

部活動を盛んに行っていますが、スポーツだけではなく文化部に力を入れたいと思っております。この度、あらたに吹奏楽部が立ちあがりました。そのデビューは、上越教育大学の吹奏楽団とのコラボで3月の卒業式及び4月の入学式です。

また、110周年の特別講演に、大村智先生をおむかえします。先生は高校から大学そして社会人になっても、ノルディックスキーをおやりです。インターハイにも出ておられます。そのスキーは妙高高原で鍛えられたそうです。その縁もあって、今回の講演依頼を快く受けていただけました。先生の若者への期待を大いに語ってもらいます。講演会場には関根学園の生徒のみではなく、地域の中高生も招待し、先生のお言葉を分かち合いたいと思います。

また、**12月15日に第二体育館**（写真）**を新設しました。**冷暖房完備の最新施設です。日常の練習や対外招待試合の場として活躍します。一方で、災害時においては、地域の皆さんの避難場所としてお役に立つことが出来ます。こうした地域への貢献が出来ました。
これからも地域文化の発展に地域の皆さんと同じ思いで協働活動をおこなって参りたいと思います。どうか今後もこれまでと同様のご支援をお願い申しあげます。